

科目・コース（ユニット）名： 早期ポリクリニック
英語名称：Early clinical exposure

【担当責任者】大谷晃司、諸井陽子

【連絡先】igakukyo@fmu.ac.jp

【開講年次】 1 年 【学期】 前期 【必修／選択】 必修
【授業形態】 実習

【概要】

医学部受験を決めた時、医師について何を知っていたらどうか。病院について何を知っていたらどうか。病院で医師が担う業務は、外来、病棟、手術室、救急センターに限定されるものではない。日々の診療業務は多様な職種と連携して遂行され、すべての安全かつ効率的な医療業務は、診療環境を支える様々なシステムが休みなく稼働して初めて可能になる。本実習では、大学病院における診療業務が様々な職種の連携によって成り立っていることを理解し“プロフェッショナルである”ことの意味を自ら考える機会とする。

【学習目標】

- 1) 医療現場における接遇の必要性を自分の言葉で説明できる
- 2) 医療人として相応しい身なりを整えることができる。
- 3) 医療人を志す学生として相応しい態度で行動できる。
- 4) 病院の診療環境維持に不可欠な管理部門を挙げ、その果たす役割を説明できる。
- 5) 中央診療部門を挙げ、その役割を説明できる。
- 6) 病棟で働く医師、看護師、その他の職種の役割を説明できる。
- 7) 「プロフェッショナルである」とはどういうことか、自分なりの考えを説明できる。

【教科書】指定しない。

【参考書】指定しない。

【成績評価方法】

出席は必須。実習科目であるため、単位認定には、履修規定に基づき、5 分の 4 以上の出席を要する。

成績評価は、演習及び講義の課題と、実習レポート及び実習態度（実習担当部署からのフィードバックを含む）に基づく。

【学習上の注意事項】

医療者としての接遇で学修、および、オリエンテーションで提示される身なり、態度、集合時間、その他の注意事項に留意すること。

身なりの基準は、患者さんを中心とした福島医大病院の医療現場の基準に基づく。入学時に案内された「ケーシー白衣の購入について」に記載の「実習当日の服装」を遵守すること。

※身なり（服装、髪型を含む）が適切でない場合は、実習に参加できないことがある。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2026/6/ 1	月	5-6	（演）医療者としての接遇	諸井陽子	
2	2025/6/17	水	4-6	（講）オリエンテーション	諸井陽子	
3	2025/6/18	木	1-6	（実）A・Bに分かれる A：中央診療部門・管理部門見学 B：病棟体験実習	各部署の担当者	
4	2025/6/19	金	1-6	（実）A・Bに分かれる A：病棟体験実習 B：中央診療部門・管理部門見学	各部署の担当者	

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
諸井陽子	助手	医療人育成・支援センター	(内)2178
大谷晃司	教授	医療人育成・支援センター	(内)2607